

シリーズ「コメディカルの現場から」①

臨床工学技士について

独立行政法人国立病院機構

和歌山病院ME室 休場敏弘

医療現場には、X線・CT・MRIなどを扱う診療放射線技師、薬を取り扱う薬剤師、血液や尿検査・病理検査・超音波検査・心電図や脳波などの検査を行う検査技師、リハビリテーションを行う理学療法士や作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、食事や栄養面で患者さんをサポートし栄養管理を行う管理栄養士など、コメディカルスタッフと呼ばれる様々な職種が活躍しています。本シリーズではチーム医療を支えるコメディカルスタッフの現場でのトピックスや皆さんに知っておいていただきたいことをシリーズとして連載いたします。

臨床工学技士の主な業務は、生命維持管理装置の操作及び点検・管理を行うことで、その業務範囲は呼吸・循環・代謝領域と多岐にわたります。

呼吸領域では、肺の機能が悪くなり、自身で呼吸が行えなくなった患者さんには、呼吸を助ける人工呼吸器という装置を装着します。臨床工学技士は、その人工呼吸器の操作・点検・管理を行います。循環領域では、心臓手術の際に心臓や肺の代わりの働きをする体外循環装置(人工心肺)の操作・点検・管理を行います。代謝領域では、腎臓が悪くなり体内に水分と老廃物が蓄積してしまつた患者さんに対し血液透析療法を行います。その血液透析療法に用いる人工透析装置の操作・点検・管理を行います。医療機器の著しい進歩に伴う医療の高度化に伴い、医学的・工学的な専門知識を持つ技能者が必要となつたために作られ

業務は医療施設ごとに異なります。

和歌山病院では、呼吸治療業務、手術室業務、医療機器管理業務、睡眠外来業務等を行っています。全国の医療施設内でも有数の人工呼吸器稼働台数を誇り、常時約40台の人工呼吸器が稼働しており、その人工呼吸器の回路交換、操作・点検・管理を行っています。医療機器管理業務では、約100台所有している輸液・シリンジポンプの点検・管理業務を行っています。睡眠外来業務では、睡眠時無呼吸症候群の治療に用いるCPAP装置の使用方法的説明および、在宅でのCPAP装置の使用状況のデータ解析を行っています。最近では、体外式人工呼吸器の操作・点検・管理も行うことができます。また、院内では、定期的に医療機器の取り扱いの勉強会を行い、医療機器取り扱いの安全性向上に努めています。

臨床工学技士という名称から、医療施設での機械屋と思われがちですが、そうではなく、業務の多くは、患者さんのベッドサイドで医師や看護師・その他のコメディカルとともに生命維持管理装置を扱う臨床業務に携わっています。

今後益々増える医療機器の安全性確保と有効性維持の担い手として、チーム医療に貢献して行くことを考えています。